

事業計画書

事業所名又は施設名	アップルミントホームヘルパーステーション
サービスの種類	居宅介護・重度訪問介護・移動支援・訪問介護(介護保険)

1. 事業の目的																
利用者及び障害児の保護者(以下「利用者等」という。)の意思及び人格を尊重し利用者等の立場に立った適切な居宅介護の提供を確保することを目的とする。																
2. 事業開始日	平成 14 年 4 月 1 日															
3. 年間平均利用者数	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="border-bottom: 1px solid black;">全体</td> <td style="border-bottom: 1px solid black;">19.0</td> <td style="border-bottom: 1px solid black;">人</td> </tr> <tr> <td style="border-bottom: 1px solid black;">居宅介護</td> <td style="border-bottom: 1px solid black;">11.7</td> <td style="border-bottom: 1px solid black;">人</td> </tr> <tr> <td style="border-bottom: 1px solid black;">移動支援</td> <td style="border-bottom: 1px solid black;">4.0</td> <td style="border-bottom: 1px solid black;">人</td> </tr> <tr> <td style="border-bottom: 1px solid black;">重度訪問介護</td> <td style="border-bottom: 1px solid black;">1.0</td> <td style="border-bottom: 1px solid black;">人</td> </tr> <tr> <td style="border-bottom: 1px solid black;">訪問介護</td> <td style="border-bottom: 1px solid black;">2.0</td> <td style="border-bottom: 1px solid black;">人</td> </tr> </table>	全体	19.0	人	居宅介護	11.7	人	移動支援	4.0	人	重度訪問介護	1.0	人	訪問介護	2.0	人
全体	19.0	人														
居宅介護	11.7	人														
移動支援	4.0	人														
重度訪問介護	1.0	人														
訪問介護	2.0	人														

4. 月別状況一覧表

令和 3 年 4 月 ~ 令和 4 年 3 月

項目 \ 月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
居宅介護 利用見込数 (人)	11	12	12	11	12	11	11	13	13	11	11	12	140 人	11.7 人
重度訪問介護 利用見込数 (人)	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12 人	1.0 人
移動支援 利用見込数 (人)	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	48 人	4.0 人
訪問介護 利用見込数 (人)	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	24 人	2.0 人
その他 (行事・研修の実 施等)	介護 技術 研修				障 がい 理 解 研 修				介 護 技 術 研 修			人 権 研 修		

5. 本年度の目標

①ご利用者様の生活の質の向上

- A) ご利用者様のできる能力を把握して、日常生活でいかなるような働きかけをしていく。
出来る事を増やし、ご利用者様の生活意欲につなげられるように支援していく。
- B) ヘルパーやサービス提供責任者が訪問時に、ご利用者様の声を聞き、必要に応じて多職種との連携を取り問題解決、改善に努め、現在の日常生活が継続的に続けていけるよう支援していく。
- C) 訪問時に、ご利用者様の心身の変化が生じた場合、速やかに管理者及びサービス提供責任者に連絡を行ない、適切な対応を行なう。
- D) ご利用者様、ご家族様との信頼関係を築き、ご利用者様の求めている生活に近づけるようなサービスを目指す。
- E) ご利用者様の安全確保のため危険な場所の改善を提案する。

②スタッフの質の向上

- A) ご利用者様の状態に合わせた介護を全員が対応できるよう研修を行なう。
- B) 月に1度行っているヘルパー会議で研修の時間を設け、専門的な知識、技術の向上に努めていく。
- C) ヘルパー会議において、ご利用者様に関する情報若しくはサービス提供にあたっての留意事項の伝達を行い、よりよいサービス提供につなげていく。

③人材確保

- A) 現在の登録ヘルパーの定着と新ヘルパーの確保に努める。
- B) 現ヘルパーにおいては、体調不良時の勤務交代等の柔軟な対応により定着率の向上を図る。
- C) 新規のヘルパーにおいては、不安なく訪問に行けるよう同行訪問し慣れるまでフォローしていく。

④感染症対策

- A) 新型コロナウイルス等感染防止のため、サービス提供開始前と終了時に、石鹼（液体）と流水による手洗い、または消毒用エタノールによる手指消毒を行なう。
- B) 訪問時には、マスク着用、換気の徹底を行なう。
- C) 事業所内での研修において、感染症についての正しい知識と感染防止策の周知徹底を行なう。

6本年度の研修計画

月	研修内容
① 4月	・接遇・コミュニケーション技術について
② 8月	・発達障害の理解について
③ 12月	・感染症について
④ 3月	・プライバシーの保護について